

マシン設定の初期化

設定ミスなど、何らかの理由により、レーザー加工機の動作に問題がある場合、マシン設定を初期化することにより改善する場合があります。マシン設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻す方法を説明します。

※ 制御用パソコンの OS や設定により異なる場合があります。

準備

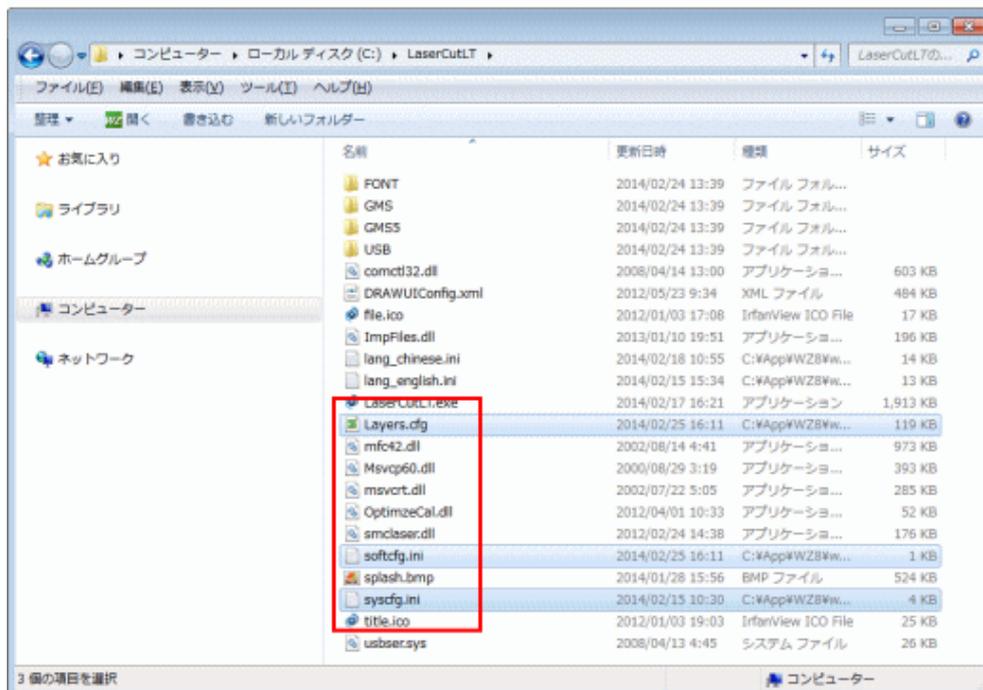
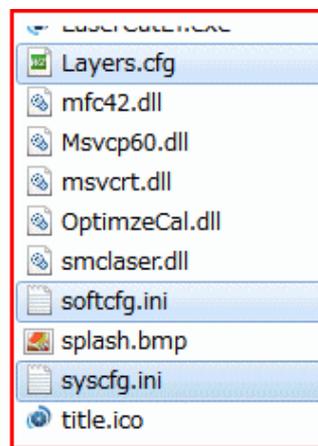
LaserCutLT を起動させている場合は終了してください。

① syscfg.ini、softcfg.ini、Layers.cfg のバックアップ

制御用パソコンのエクスプローラで、LaserCutLT のインストール先フォルダを開きます。

通常はローカルディスク「C:\%LaserCutLT」フォルダです。

フォルダ内にある以下の3種類のファイルを探します。

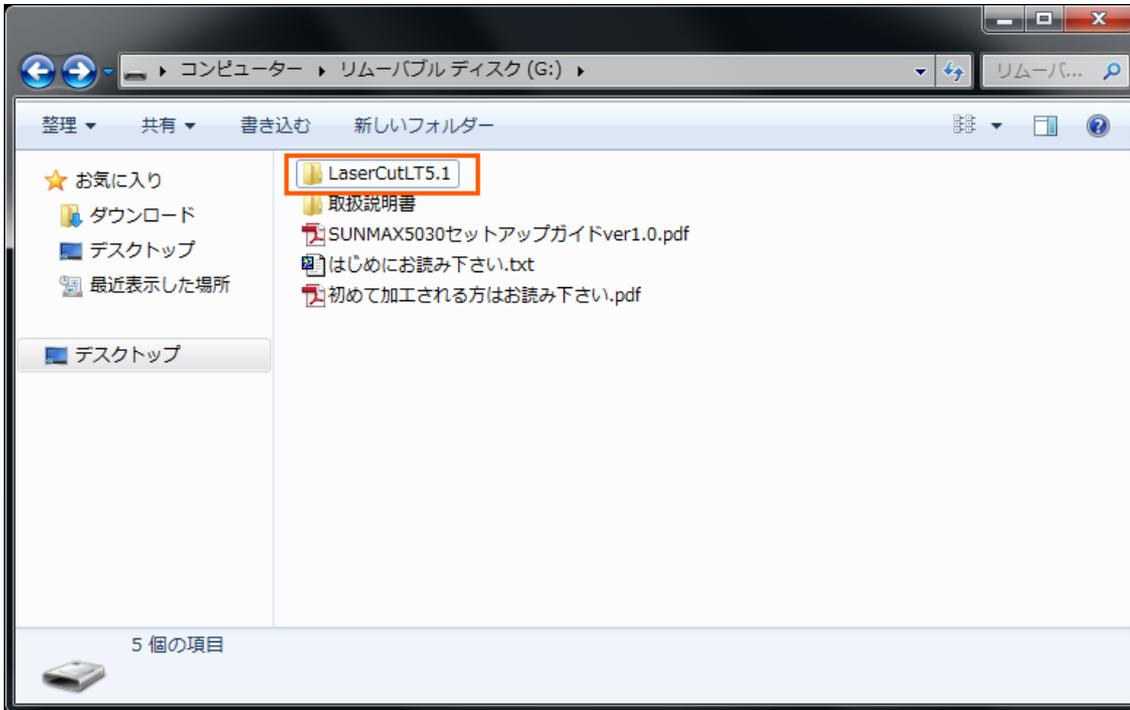


※ 使用する OS、環境により、画像と表示が異なる場合があります。

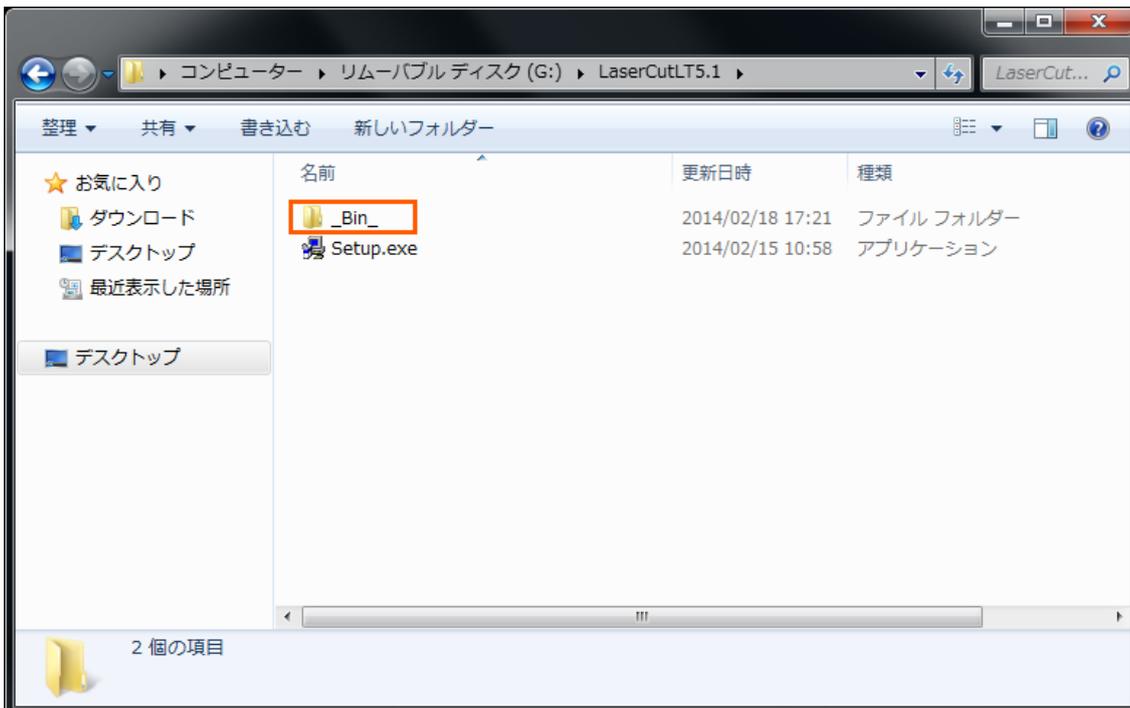
「LaserCutLT」フォルダを開くと、その中に「syscfg.ini」「softcfg.ini」「Layers.cfg」というファイルがあるので、そのファイルをバックアップとして別のフォルダに保存しておいて下さい。現状のレーザー加工機固有の設定が含まれています。

② 出荷時のファイルをコピーする

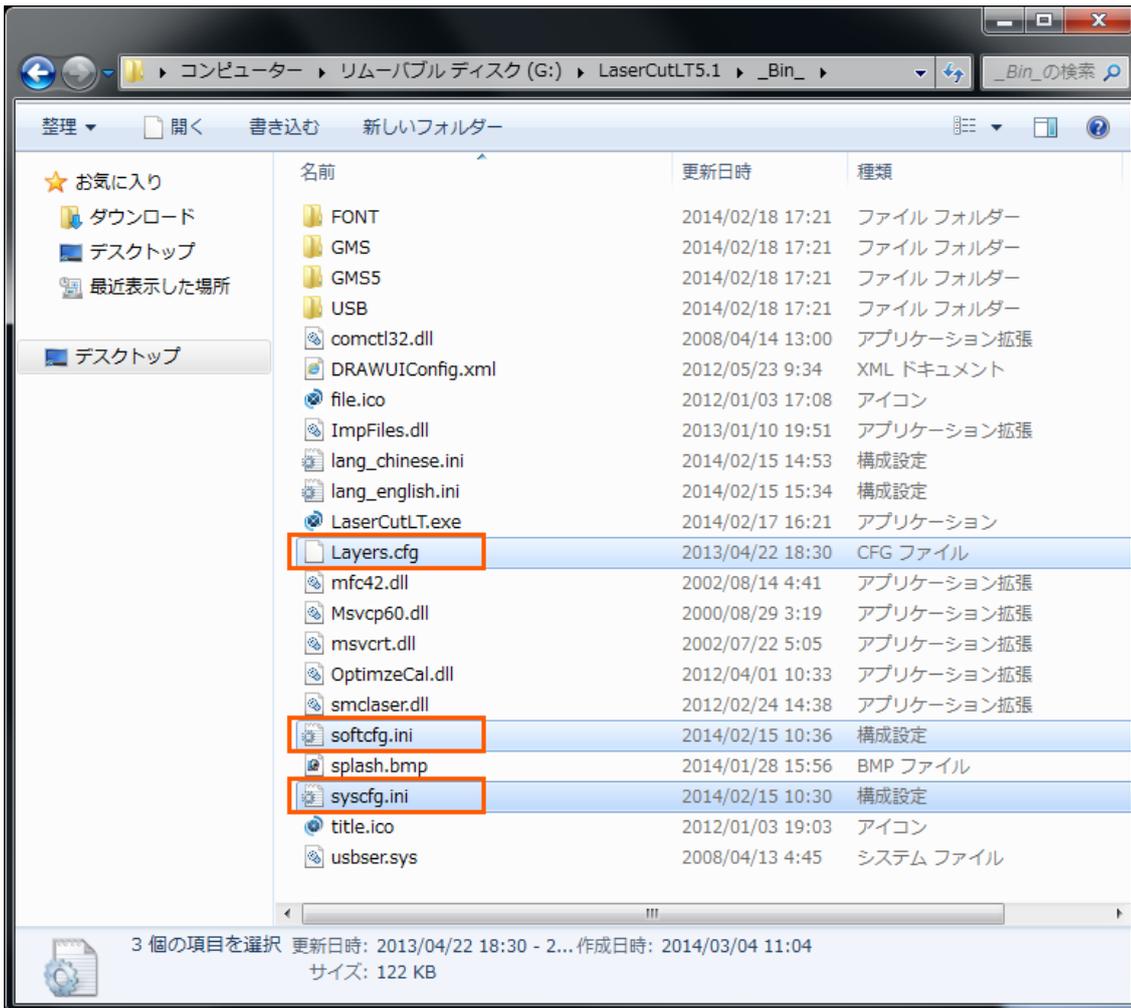
RSD-SUNMAX-LT シリーズに付属している USB フラッシュメモリを制御用パソコンに接続して、フォルダを開きます。「LaserCutLT5.1」というフォルダがあるので、開きます。



「LaserCutLT5.1」というフォルダを開くと、中に「_Bin_」というフォルダがあるので、それを開きます。



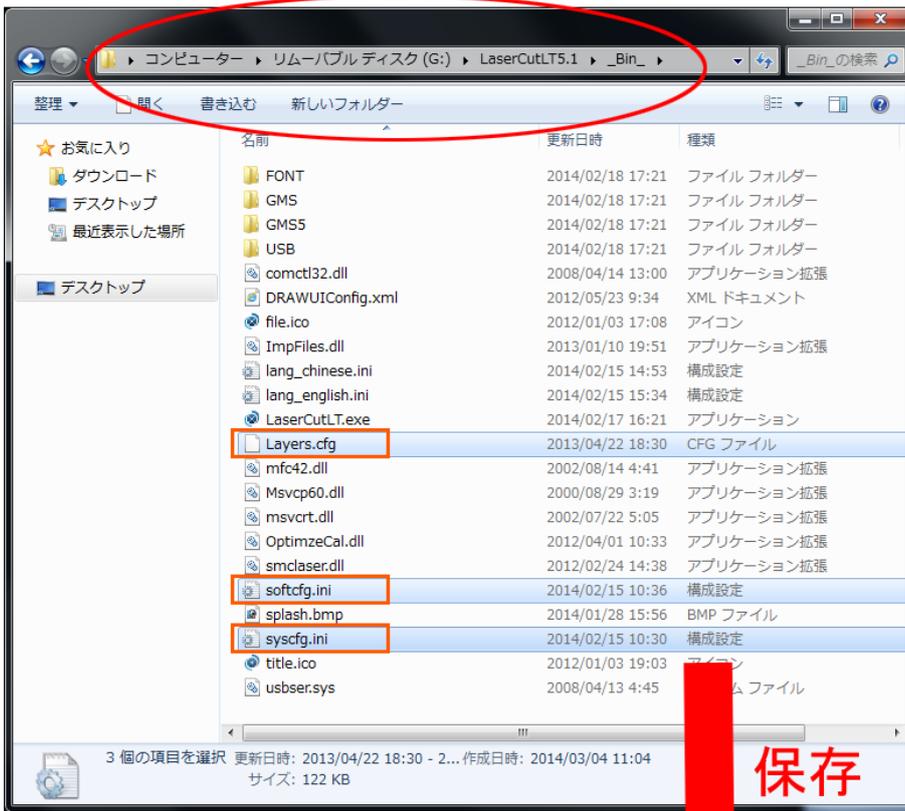
「_Bin_」フォルダの中に「syscfg.ini」「softcfg.ini」「Layers.cfg」ファイルがあります。



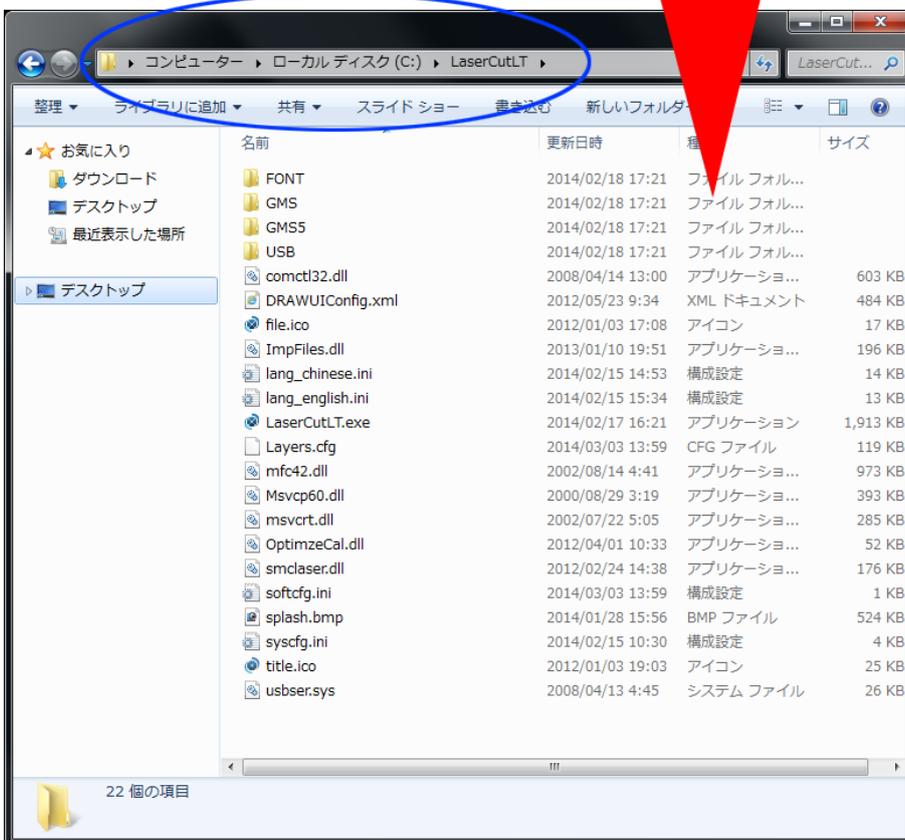
③ 「syscfg.ini」「softcfg.ini」「Layers.cfg」を保存する

USB フラッシュメモリの中にある「syscfg.ini」「softcfg.ini」「Layers.cfg」を、制御用パソコンの LaserCut LT のインストールフォルダに保存（上書き保存）します。

USBフラッシュメモリ



制御用パソコンのLaserCutLTインストールフォルダ



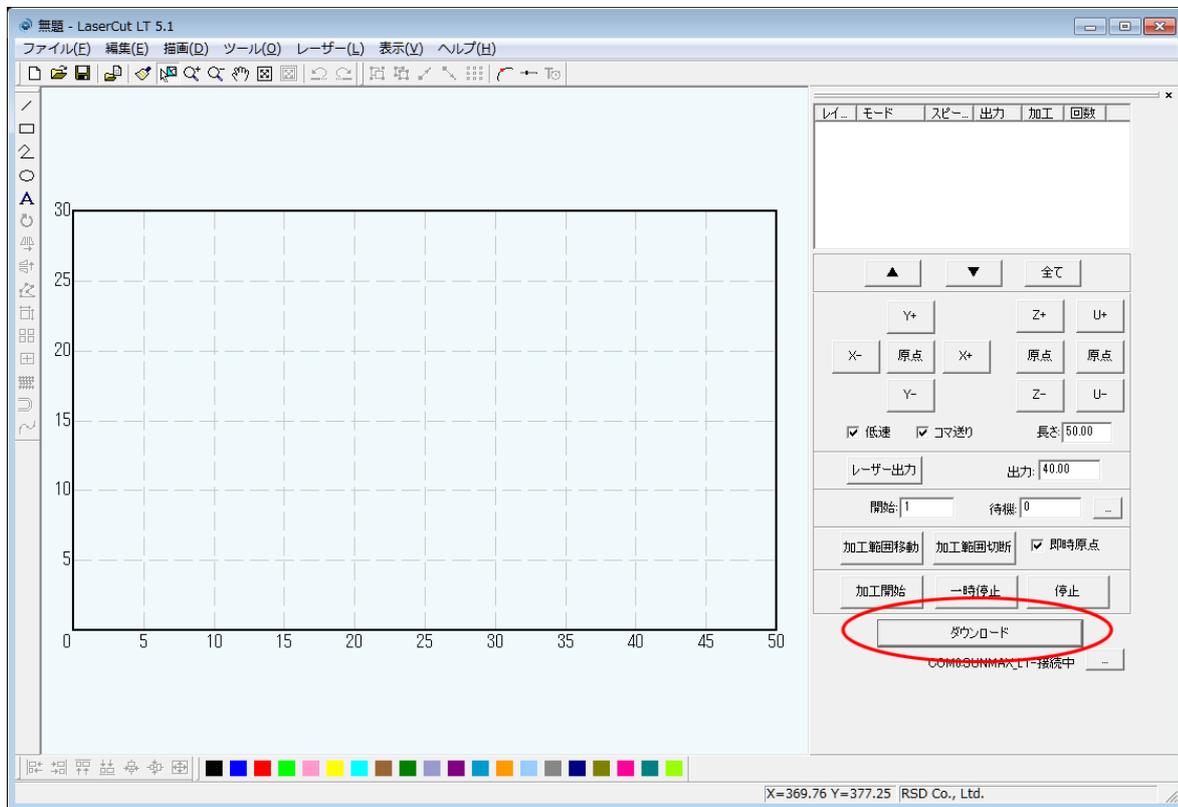
④ 設定のダウンロード

レーザー加工機と LaserCut LT を起動します。

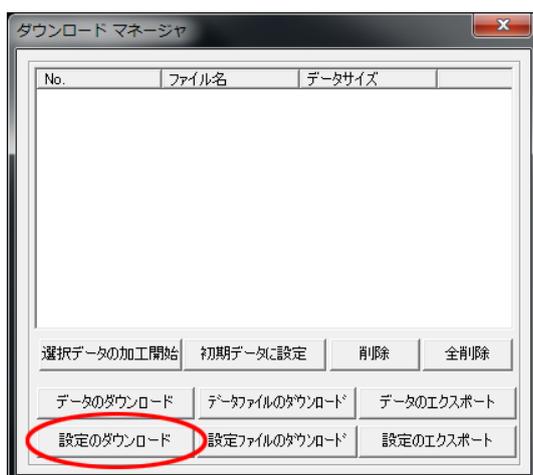
LaserCut LT 起動後は、データの編集や、設定を行わないで下さい。

USB ケーブルで、接続されている状態で、「設定のダウンロード」を行います。

「ダウンロード」をクリックして下さい。



「設定のダウンロード」をクリックして下さい。



これで「マシン設定の初期化」は終了です。